

中学 県総体 2019

〈第4日〉

第46回県中学校総合体育大会第4日は24日、各地で

仲西V 美東は連覇

男子仲西

男子は仲西が浦西の反撃に耐えて序盤のリードを守り抜き、群雄割拠の様相を呈する男子の頂点に立った。立ち上がり課題としていた高岡信雄監督は「攻めも守りも最初からガンガンいってくれた。頑張ってきたことが報われた」と喜んだ。

準決勝で昨年の全国王者神森を下して勢いに乗る浦西との決勝は、開始直後の激しい攻防から一歩抜け出した。右サイドから大城風真、積太陽のポスト、島尻湧太の右45度などハイペースで得点を重ね、開始6分すぎで4点差をつけた。

シュート精度が落ちた時間帯もあったが、一度も逆転を許さなかった。高岡監督は「ボールが来たらず決めてくれる頼もしいサイド」と言わしめた大城風は前半6得点、計8得点を挙げ、「中学最後の総体。チームを救ってうれしかった」とほかにんだ。昭葉付戦で延長も経験し、準

8競技を行い、ハンドボール男子決勝は仲西が浦西に30-26で競り勝ち、9年ぶり4度目の優勝を飾った。女子は美東が仲西を22-14で破り2連覇を果たした。バスケットボール女子は与勝が決勝リーグ最終戦で

コザを延長の末68-63で退けて3戦全勝で初の栄冠を手にした。男子は玉城が3戦全勝で初制覇し、昨年の新人、2月の選抜に続き3大会連続優勝を果たした。サッカー決勝は小塚が大

宮を4-2で制し、4年ぶりは友愛愛加理(石垣第二)、ダブルス男子は糸満吉聖・横山蒼空組(南風原)、女子は中川綾莉・有銘杏奈組(具志川東)が制した。バドミントン団体男子は

宮里、女子は沖縄東が決勝リーグ3戦全勝で栄冠。卓球の団体男子は名護、女子は平良、個人男子は東政利(普天間)、女子は熊田陽菜梨(知念)が優勝した。第5日の25日はバドミントンと軟式野球を行う。

卓球の記録は後日掲載します

ハンドボール

仲西	30	16	14	14	12	26	浦西
浦西	26	27	25	沖縄	27	25	神森
浦西	14	12	26	浦西			西

序盤猛攻 逃げ切る



決勝で第2シード沖縄東を下し将は「他のチームの思いも背負っての頂点。センターを務めながら九州に臨みたい。優勝しただけで満足しなす下地侑帆主すと力を込めた。(富山学)

仲西-浦西 前半、仲西の積太陽が10点目のシュートを決める。豊見城市民体育館(田嶋正雄撮影)

理想の攻撃 宿敵破る



美東 27 16 南風原 仲西 22 20 神森 美東 22 10 12 6 8 14 仲西

美東一仲西 前半、美東の名嘉陽菜が7点目のシュートを放つ

女子美東

女子の美東は全ホジションから満遍なく得点し、仲西を22-14で撃破。4月の県春季決勝で1点差で競り勝ったライバルを、今回は8点差で退けた。2年生の比嘉聖がスカイプレーなど自由に動き回

り、西田ころ主将、身長168cmの名嘉陽菜との強力なバック陣を形成。相手守備を揺さぶってサイドからも得点を狙う理想の展開に持ち込んだ。西田主将は誰にパスしても決めてくれる。出だしからいいプレーをできた」とチーム力に手応えを得た様子だった。右サイドの比嘉聖みなど



9年ぶり優勝の男子仲西



2連覇した女子美東